

## 普及活動情勢報告（令和7年6月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### ユズの花が少ない！？

### ～JA三原柚子部会現地検討会～



5月28日、三原村のユズほ場で、柚子部会の現地検討会が開催され、生産者が14名、関係機関2名が参加しました。

農業改良普及課からは、少ない花を着果させるために、現地でユズの枝を見ながら今後の管理について説明をしました。

生産者からは、「この園も花が少ないね」、「現場の樹を見ながら取り除く枝の確認ができ、状況に応じた管理について勉強できてよかった」等の意見がありました。

今後も、現地検討会を継続することで、各園地に応じた栽培管理指導を行っていきます。

### 「あしずり黒潮米」の栽培ほ場を巡回

### ～JA高知県三崎出張所水稻部～



6月4日、土佐清水市にあるあしずり黒潮米のほ場の巡回と栽培講習会が実施され、生産者2名、関係機関4名が参加しました。講習会では、各ほ場で草丈や茎数、幼穂長等の生育状況を確認し、意見交換を行いました。

農業改良普及課からは、出穂期の予測や病害虫の防除等、栽培期間後半の管理や高温対策について情報提供しました。

生産者からは、天候の影響で田植えが遅れたことを心配する声が聞かれた他、高温障害対策に対しても関心が寄せられました。

今後も、関係機関と連携してブランド米の生産拡大を支援していきます。

### 上手に植えられるかな！

### ～具同小学校田植え体験～



6月10日、四万十市入田の14aの水田で、具同小学校5年生59名、関係者10名が田植えを行いました。この取組は、市役所や地元の集落営農法人と連携し、平成23年から小学校の総合学習の一環として行っています。

農業改良普及課から、苗の植え方について説明した後、児童らは裸足で水田に入り、歓声を上げながら田植えを行いました。児童達は、足が泥から抜けなくなるなど苦戦しながらも、一生懸命に苗を植えていました。

今後は、稲刈り体験の支援を行い、児童への食農教育を推進していきます。

## 今年の水稲の出来は？

## ～三原米ブランド化研究会現地検討会～



6月10日、三原米生産者のほ場8ヶ所で、三原米ブランド化研究会の現地検討会が開催され、生産者7名、関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、4～5月の気象と生育状況、今後の栽培管理、病虫害防除について情報提供しました。併せて、現地で幼穂長を測り出穂期の確認を行いました。

生産者同士で幼穂長等の生育状況や病虫害の発生状況の確認と情報交換が活発に行われました。

今後も、関係機関と協力して三原米ブランド化研究会の活動を支援し、ブランド米の生産拡大を推進していきます。

## 今年の水稲の出来は？

## ～JA宿毛支所文旦研究部会総会～



6月10日、JA高知県宿毛支所で、文旦研究部会の総会が開催され、生産者10名、関係機関8名が参加しました。

農業改良普及課からは、1～5月までの気象と生育概況および今後の栽培管理について情報提供しました。

生産者からは、「今年は着花量が多くて安心している」などの声がある一方で、「生理落果が多い気がする」などの声が出ており、収量・品質を安定させるように夏場の栽培管理について助言しました。

今後は、JAと協力して文旦研究部会の活動支援を行い、収量・品質向上に取り組めます。

## 今年の水稲の出来は？

## ～大月町ナス生産者個別巡回～



6月12日、大月町施設園芸部会のナス生産者7名を対象に、JA幡西営農センターと連携して個別巡回を実施しました。

農業改良普及課からは、各生産者ごとに今作を振り返り、次作の課題について提案しました。

生産者からは、「今作は春先から病害の発生が多かった」、「例年より3月からの収量が伸び悩んだ」などの意見がありました。

今後も、JAと協力して次作の病害防除と収穫最盛期における草勢維持のための栽培管理の支援を行い、産地の課題解決に取り組めます。